

弘前の社会教育

令和8年度

1	弘前市教育委員会の方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1P
2	令和8年度社会教育関係主要事業等・・・・・・・・	2～15P
3	社会教育行政機構・・・・・・・・・・・・・・・・	16P
4	社会教育関係施設等・・・・・・・・・・・・・・・・	17～19P

【記載内容について】

事業等は、教育委員会社会教育関係部署が主管するもの、弘前図書館・岩木図書館・駅前分室こども絵本の森及び郷土文学館の指定管理者が行う事業を記載しています。

1 弘前市教育委員会の方針

弘前市教育委員会の方針

みんなが学ぶ、みんなと学ぶ、みんなに学ぶ

この方針のもと、学校が抱える課題を地域とともに解決に向けて取り組むことによって、学校にとっては教育活動の充実や教育の質の向上につながり、地域にとっては人々の生きがいがいづくりやコミュニティの活性化につなげることができる「地域とともにある学校」の実現を目指すものである。

みんなで築く 弘前の社会教育

〈みんなが学ぶ〉

弘前の未来を考えながら、一人一人が主体的に学びます。



〈みんなと学ぶ〉

地域と学校が一体となり、地域全体で協働的に学びます。



〈みんなに学ぶ〉

学びの循環を進め、世代を超えて対話的に学びます。



地域コミュニティの活性化～地域とともにある学校～（イメージ図）



2 令和8年度社会教育関係主要事業等

2-1 生涯学習課

生涯学習社会の実現を目指し、社会教育行政の事務機関として、実施機関と連携を緊密にし、社会教育振興のための諸条件を計画的に整備することにより、生涯学習の推進を図る。

実施事業

事業名	内容
研修事業	公民館等の社会教育関係職員や社会教育委員の資質向上及び社会教育における多様な課題を共有し、ニーズに適切に対応していくため各種研修事業を実施し、地域コミュニティの活性化に寄与できる人材を育てる。 主催事業：公民館関係職員研修会、社会教育関係職員合同会議の開催 派遣研修：県社会教育センターや中南教育事務所等が開催する研修会に派遣
放課後子ども教室事業	次世代の人材育成を図るため、放課後や週末に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進め、子ども達に学習や体験・交流活動等の機会を提供する。 (令和8年5月～令和9年2月開設予定/市内18箇所で実施予定)
社会教育関係団体等への助成	ガールスカウト弘前地区委員会事業費補助、連合婦人会事業費補助、連合父母と教師の会事業費補助、相馬子ども会育成協議会事業費補助、学校管理下外親子安全保険事業費補助、弘前地区小学校文化連盟事業費補助、弘前市中学校文化連盟事業費補助、小・中学校文化連盟大会派遣事業費補助。
二十歳の祭典	当該年度中に20歳となる方を対象に集いの場を設け、互いの成長を認め合いながら、社会人としての自覚と意識の高揚を図るために開催する。
社会教育施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、総合学習センター及び農村環境改善センターの管理運営を行う。なお、平成23年4月1日から総合学習センターは指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている。
学びのまち情報提供事業	地域の様々な情報を集積し、市民や学校、企業等が活用しやすい情報として提供し、学習活動や団体間の連携促進を図る。
食育推進情報発信事業	食育への理解の深まりや各取り組みの相乗効果を図るため、庁内や関係団体の食育に関する取り組みについてホームページや食育フェスティバル等を通じて情報発信する。
ひろさき教育創生市民会議	弘前市が目指すべき教育の姿、施策の方向性や子どもの育ちと学びを推進する教育システムに関する事などについて協議する。

【 図書館・郷土文学館運営推進室 】

事業名	内容
図書館・郷土文学館施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、図書館・郷土文学館の管理運営を行う。なお、平成29年4月1日から図書館(調査室を除く)・郷土文学館は指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている。 (通年)
古文書デジタルアーカイブ事業	古文書・古典籍・絵図類をデジタル化しWEB等で公開することで、資料の保存、社会教育・学校教育・観光などの活動の支援を図る。 (通年)
古文書解読中級講座	所蔵資料等をテキストとした、難易度が高めの古文書読み方講習会を実施する。 (2～3月)
初心者のためのくずし字講座	まったくの初心者のための「くずし字が文字に見えるようになる入門講座」。古文書を扱うための基礎知識も学ぶ。 (1～2月)
古文書等の補修・複写事業	傷んだ古文書等を補修するとともに、複写本を製作し利用に供する。 (通年)
レファレンスサービス	利用者の調査・研究活動等に伴う質問に資料紹介等の支援を行う。 (通年)

2-2 公民館

市立公民館の基本方針

現代社会においては、人口減少、少子高齢化、人と人との関係性の希薄化などが大きな問題としてクローズアップされており、社会教育、公民館もこの状況に対応する取組が求められている。

社会教育活動のさらなる推進に向け、教育委員会関係各課・施設との連携・協働のほか、市長部局をはじめ、NPO、民間団体等、様々なテーマに取り組む多種多様な団体との連携・協働の必要性が一層高まるものと予想される。

他方、本市においては、市立全小中学校に学校運営協議会を設置しており、地域全体で子どもたちを守り育て、学校の課題解決に地域の力を活用することとしている。また、地域学校協働活動との一体的推進により、学校教育活動の充実のみならず、同時に人口減少、高齢化等の諸課題を抱える地域の活性化も図ることが期待されている。

これらの現状を踏まえ、本市における「人づくり」「地域づくり」を推進し、地域住民の福祉の向上を図るため、令和8年度の公民館の基本方針を次のように定める。

(1) 誰もが気軽に立ち寄れる公民館の創出

学びの場であるとともに、集いや交流の場である公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる施設であることが重要となることから、地域住民の誰もが来やすい公民館の雰囲気醸成に努める。

(2) 多種多様な学習機会の創出

変化していく社会に対応し、自らの人生を豊かにするために、生涯にわたり学び、また、その成果を社会に還元できる学びの循環につながるよう、多種多様な学習機会を創出する。

(3) 地域への愛着、誇りを育む学習の推進

地域のあらゆる人材、素材、伝統、文化等を活用した学習を進めることで、子どものみならず大人に対しても生まれ育った地域、生活している地域への愛着、誇りを育む。

(4) 地域活動、ボランティア活動の推進

地域活動や自主的なボランティア活動を支援することで、連携・協働による地域コミュニティの活性化を推進し、持続性のある地域社会の構築に努める。

(5) 公民館職員等に対する研修の推進

社会の変化とともに多様化する学習ニーズに対応するため、公民館職員、学区まなびい講座運営委員の研修等を行い、資質向上を図る。

(6) 施設の機能維持

老朽化する公民館の機能を維持するため、計画的な修繕と、改築等の検討を進める。

2-2 (1) 中央公民館

運営方針

- 教育委員会の各課・各施設、公民館、学区まなびい講座、小・中学校をはじめとする教育機関との連携はもとより、市長部局、地域の各種団体・機関、NPO等との連携・協働を進め、公民館活動の充実を図る。
- 住民の主体的な学び、活動を支援するとともに、地域・家庭・学校の連携・協働を支援し、活力ある地域コミュニティの充実に努める。

実施事業

事業名	内容
子どもの活動推進事業	子どもの活動を主とした地域コミュニティ活性化を目的とし、地域・学校が一体となって子どもを育成する事業に対し1小学校区につき5万円（補助率90%）を上限に補助する。
学区まなびい講座支援事業	市街地における小学校区（11学区）の各運営委員会が、主体的に地域の課題や住民のニーズに即した各種講座や事業の企画・立案を行い、実施することに対し支援する。

事業名	内 容
子どもリーダー養成事業 (弘前市・太田市青少年交流事業)	市内の小・中学生、高校生を対象に、月1回程度、異なる地域や学校、異年齢の子どもたちが、グループワークや集団活動、宿泊体験、交流活動等を行う。太田市との交流(訪問交流と受入交流を各年交互に実施)を行う。
弘前市子どもの祭典支援事業	公募した市内の中・高校生が主体となり、毎年11月3日(文化の日)に開催する『弘前市子どもの祭典』において、参加者同士の交流や、様々な学び・体験の機会を創出する。また、実行委員が事業実施に至るまでの過程を通じ、多様な考え方や価値観の共有、仲間づくりの大切さを学ぶ機会となるよう企画運営を支援する。
子どもクラブ事業	小・中学生を対象に、生涯学習の動機づけとなるよう、多様な活動・学習・体験の場を提供する。異年齢の子どもと一緒に活動することにより、社会性やコミュニケーション能力の向上、豊かな人間性を育む。
弘前大学との地域づくり連携事業	弘前大学と弘前市の連携に関する協定に基づき、弘前大学と公民館が連携して、地域課題の解決に向けたテーマ等を設定する。共同で事業を実施することにより地域づくりや人材育成を図る。
プラネタリウム事業	天候に左右されない空間で映像や音響を交えて分かりやすく天文現象を見せることで、市民の天文、宇宙、科学に関する知識や興味・関心を高め、生涯学習への動機づけを行う。
市民講座事業	「現代セミナーひろさき」では多様化する社会問題への対応や解決方法を学び、「国際交流事業」では外国人との相互理解や交流を通じて学習意欲を高めるきっかけづくりを図る。
成人教育事業(「ベテランズセミナー」)	おおむね60歳以上の市民を対象に、多様な学習機会を提供し、年齢に応じた社会的能力を養うとともにそれを広く社会に生かし、積極的に生きがいをもつきっかけとしてもらう。
文化センターフェスティバル支援事業	中央公民館の支援を受けて弘前文化センターで定期的に活動しているグループに、例年11月に日頃の活動の成果を発表する場を提供し活動の活性化を図る。また、広く市民にその活動を理解してもらうとともに、生涯学習のきっかけづくりとする。
青年の学習活動活性化事業	青年層(18歳～50歳)が必要とする情報、知っておくべき知識を提供する講座を実施し、青年の自立を促し、職業・年齢を超えた交流を図り、仲間づくりの実現と、学習した青年たちが自らの地域において社会をリードする存在となることを目指す。
ピュアフレンズ支援事業	知的障がい者の生涯学習スクール「ピュアフレンズ」では、弘前市総合学習センターを会場に、弘前市及び周辺地域に住む知的障がい者の生涯学習活動の場の提供と活動支援を行う。ボランティアのスタッフが中央公民館と連携して彼らの活動を支援する。
キッズ☆ワールド運営支援事業	学校や年齢が異なる子どもたちが、仲間と協力するレクリエーションや遊びの活動を通して、自身の成長を感じられる場を提供する。また、弘前大学の学生が、子どもの成長に必要な体験活動を検討し、それが活動に反映できるように企画するなど、実践を通じた学習の場を提供する。
キッズネットクラス運営支援事業	東地区居住者を中心に、未就学児をもつ親子が気軽に集い、子どもの集団遊び、親子の交流、育児に関する情報交換などを通して、ボランティアと子育て中の親子が共に考え学ぶ場を提供する。
文化グループの支援・育成事業	公民館講座を通じて生まれた市民の自主的な学習活動を支援することにより、市民が学びを深めるとともに社会への還元を図る。
子ども観劇・演劇ワークショップ事業	市内の小中学生に本格的な児童劇を鑑賞する機会を提供し児童の豊かな情操を育む。また、演劇に興味のある市内中学生を対象に、公演を行っている劇団員等による演技指導を実施し、演技の技術向上及び市の文化的活動の底上げを図る。
アーティスト体験ワークショップ	小・中学生を対象に、文化芸術団体の活動の紹介・披露を含むワークショップを開催し、一流に触れることで、子どもたちに文化芸術への関心・興味を育む。

事業名	内容
地域でまなぼう！食育講座いただきます	「食」への感謝や楽しさ、重要性について学び合い、「食」に関する正しい知識や判断力、規則正しく健全な食習慣の育成を図る。公民館や学校等の設備を活用し、小・中学生の親子を含む異年齢、多世代を対象に地域の食材や人・ものといった地域資源を生かした体験型の食育事業を実施する。
中学生×医師交流プログラム	「自律的に学ぶ心」「なりたい自分に近づくチャレンジ精神」を育み未来をつくる弘前っ子の育成を図るとともに、医療職に対する理解を深めるため、弘前大学の医師や医学生との交流、実習体験、施設見学を実施する。
メディカルスタッフについて学ぼう	中学生が将来の夢に向かって主体的な選択ができるよう看護師や放射線技師などのメディカルスタッフや大学生との交流、施設見学及び実習体験を実施する。
来て・見て・学ぼう！医療福祉体験	未来を担う子どもたちが他者や地域への貢献について学び、さらに、将来の職業選択への支援や地元の大学・短期大学の魅力について認知してもらうことを目的とし、模擬授業や実習体験を実施する。

学区まなびい講座実施状況一覧【11学区】（令和7年度）

講座名	開設場所	開設講座・教室等
文京学区ふれあい講座	文京小学校	子ども会バス遠足、親子スポーツ体操、ねぶた絵体験、弘前市防災マップの活用、思春期教室Ⅰ・Ⅱ、そば打ち体験、ステンドグラス体験、ドローン教室
松原学区まなびい講座	松原小学校	刻字教室、手芸教室、子ども会バス遠足、ねぶた笛教室、クラフト教室、邦楽教室、子ども会スキー教室、防災研修会
和徳学区まなびい講座	和徳小学校	子ども110番スタンプラリー、歴史探訪スタンプラリー、ユニカール大会、防災講座、ポッチャ大会、みつわのつどい、ドッジボール教室、親切カルタ大会・もちつき大会、親子料理教室
時敏学区まなびい講座	時敏小学校	学区運動会、全校お茶会、ふれあいバザー、餅つき大会、カルタ大会、ふれあいスキー教室（5・6年生）、卓球・バドミントン教室
北学区まなびい講座	北小学校	親子ヨガ、消防車学習、みんなの防災研修会、野菜づくり体験学習①・②、ねぶた集会①「組ねぶた紙張り体験」・②「ねぶた笛練習会」・③「ねぶた囃子練習会」、ふれあい軽スポーツの日、北小バザー、ポッチャ練習会
城西学区ふれあい講座	城西小学校	鉄道よもやま話Ⅱ、「金山焼」で作ろう、ふれあいクッキング、地域でまなぼう！食育講座いただきます、冬休み保育士体験教室、けの汁作り
西学区まなびい講座	西小学校	命の輝きを学ぶ、ねぶた囃子講習会、かんたんストレッチ、社会見学（宮越家）、特殊詐欺防犯会議、フレイル予防運動講座、栄養講座
大成学区まなびい講座	大成小学校	ねぶた囃子講習会、朝のラジオ体操、グラウンド・ゴルフ教室Ⅰ・Ⅱ、桜保存プロジェクト、防災訓練、手芸教室、フレイル予防！調理とミニ講話、世代間交流事業もちつき会
三大地区生涯学習講座	三大小学校	子ども会ポッチャ大会予選会、PTAバザー、健康体験コーナー、移動教室、理科実験教室、健康講座、子ども会親切カルタ大会予選会、歴史講座、地区子どもの祭典、ジャンボおらほのいろはカルタ大会、教養講座
朝陽学区まなびい講座	朝陽小学校	あさひ寺子屋、盆踊り講習会、学区民親睦運動会、バザー、親睦スポーツ大会、親子手作り講座「金魚ねぶた」、親子手作り講座「マジックバルーン」、ボーリング大会
桔梗野学区まなびい	桔梗野小学校	こぎん刺し教室①・②、こどもまつり、学区親睦秋季大運動会、音楽鑑賞教室、スキー教室、学区雪上運動会

2-2 (2) 中央公民館岩木館

運営方針

- 中央公民館、中央公民館相馬館、岩木地区内小・中学校や町会公民館等関係団体との連携・協働を図りながら、公民館事業を進める。
- 施設の計画的な修繕等を行うとともに、学習機会の継続的な提供と学習成果を生かせるような環境づくりを通して、地域コミュニティの推進に努める。

実施事業

事業名	内容
花いっぱい運動	地区住民が町会ごとに花植えをすることにより、奉仕する心や地区全体の連携協力、環境美化意識の醸成を促す。
伝統文化学習講座	岩木地区小・中学校のクラブ活動や総合的な学習の時間を利用し、子どもたちが地域の伝統芸能や文化・歴史に触れ、その良さを認識し、理解を深めるとともに、地域に対する愛着と誇りを育む。
ふるさと青少年教育事業	自然体験をはじめとした様々な体験活動等を通して、子どもたちの生きる力を育む。
ねっとワーク・いわき関連事業	地区住民の生涯学習の活性化を図るため、情報紙「ねっとワーク・いわき」の発行。
子育てサロン「岩木びよびよひろば」	乳幼児とその保護者を対象に、親子の健康や育児に関する情報交換の機会を提供する。
おもと 万年青大学	おおむね60歳以上の地区住民対象に健康保持と教養を高めることで生きがいのある充実した生活の一助となるよう各種クラブを開設する。 広い年代の住民を対象に生涯学習講座（大人のまなびば）を開催する。

2-2 (3) 中央公民館相馬館

運営方針

- 中央公民館、中央公民館岩木館、相馬小・中学校、相馬地区町会、町会公民館、関係団体等との連携・協働を図りながら、公民館事業を進める。
- 学習機会の継続的な提供と学習成果を生かせるような環境づくりを通して、地域コミュニティの推進に努める。

実施事業

事業名	内容
やすらぎ館セミナー相馬 熟 <small>こころしゆく</small>	相馬地区の住民を対象に各年代や領域に応じた生涯学習講座を概ね月1回開催する。
福寿大学	高齢者に対し学習機会を提供し、積極的に生きがいをもち充実したゆとりある生活を送ってもらうため講座や移動学習等を開催する。
紙漉き体験事業	紙漉き地区に言い伝えが残る紙漉き体験を通じて、和紙づくりの楽しさと郷土の歴史を学ぶ。
相馬地区文化祭	伝統芸能や文化に親しみながら参加体験を通じて、地域の連携と活性化を図る。

2-2 (4) 地区公民館

実施事業

- 子どもたちがいろいろなことを体験し、学びながら他者とのコミュニケーション能力を高めるために青少年教育事業を実施する。学社協働事業として、小・中学校や関係団体と連携・協力し、児童生徒が地域の伝統や文化・スポーツなどを学ぶための講師派遣や高齢者との地域交流事業を実施する。
- 青年たちが生活に生かせる知識や技術の習得を通して仲間づくりのきっかけを得るために青年教育事業を実施する。
青年教室、青年講座など。

- 女性たちが生活や家庭、一般教養に関する知識や技術の習得を通して地域活動の仲間づくりにつながるように女性教育事業を実施する。
女性教室、女性講座など。
- 子どもをもつ親や高齢者など、幅広い成人たちがそれぞれ意識する課題について学び、生活に役立てることができるように成人教育事業を実施する。
家庭教育学級、成人教室、高齢者教室、市民講座など。
- 地域の団体が連携し、文化の振興や地域づくりなどを図るための事業を実施する。
公民館まつり・文化祭、弘前大学との地域づくり連携事業など。

領域区分一覧

領域別	内容
少年教育	小学生、中学生、高校生を対象とした事業等
青年教育	青年を対象とした事業等
女性教育	女性を対象とする事業等
成人教育（家庭教育）	家庭教育学級等
成人教育（高齢者教室）	おおむね60歳以上の高齢者を対象とする教室等

地区公民館 主な領域別事業実施状況一覧【12地区】（令和7年度）

公民館名	少年教育事業	青年教育事業	女性教育事業	成人教育事業	
				家庭教育学級	高齢者教室
東目屋公民館	クリーン作戦、ポッチャ体験、防災の集い、ふれあい交流（グラウンドゴルフ）、公民館で自習会、親切カルタ	ねぶた囃子講習会（全6回）	料理教室（本格料理、アップルパイ、パン）、陶芸教室、生け花教室	トランプ大会	出前講座（弘前城本丸石垣、特殊詐欺）、足つぼマッサージ、足爪ケア、食育講座（減塩）、津軽の昔語り、QOL 健診
和徳公民館	クリーン大作戦、ツールペイント教室、いのちの授業、モルック大会とミニデイキャンプ、クリスマスフラワーアレンジ教室、染め物教室	非常時にも役立つ調理法、イスヨガ、裂き織教室、アイスコーヒーの淹れ方講座、フクギ染め体験教室	華道教室、園芸講座、折り紙教室、バステルアート、ツールペイント、手芸教室、料理教室	映像と音楽による朗読会	歴史講座「弘前城の桜の話」、城東小5・6年生とジャガイモ植付け・収穫、移動学習・歴史探訪（大館市鳥湯家の歴史）、健康講座、陶芸教室、交通安全教室
東部公民館	母の日に贈るお花の小箱作り、ペタンク、ねぶた絵の描き方と歴史を学ぶ、プラネタリウムに行こう、いっしょにプレイキングダンスを楽しもう	いかめんちと津軽伝統料理、新聞ばっくの作り方、津軽三味線の演奏と交流を楽しむ、スマートフォン講座、りんご木梓南部裂織コースター作り、正月花の生け方	新聞紙ちぎり絵、発酵食品を取り入れた料理教室、モザイクタイルアート教室、ペーパークラフトクリスマスリース作り、防災クッキング、かぼちゃを使った料理教室	いのちのお話	ペタンク、グラウンドゴルフ、教養講座（犯罪ゼロの街づくりについて学ぶ）、文化祭作品づくり（寄せ植え）、移動学習（鶴の舞橋）
清水公民館	津軽っ子スポーツ大会、カルタ、ポッチャ、三本綱引き、クリスマスケーキ作り、アルペンスキー教室	趣味講座（和菓子、コーヒー、健康ストレッチ、津軽塗研ぎ出し）	リサイクル回収、寄せ植え講座、ドライフラワーミニリースづくり	野菜料理教室、クリスマスフラワーアレンジフラワー、子育て推進（ブラッシング講座）、美化運動、奉仕活動	歌唱指導、グラウンドゴルフ、市出前講座（交通安全教室）、移動学習、芸能発表会、モルック大会
石川公民館	夏休み行事（体育レク、工作）、弘大祭の見学と弘大生との交流、親切カルタ	ミニりんご箱づくり、米粉発酵料理講座、オータムパスタレッスン	移動学習（ねぶたの家ワ・ラッセ、魚菜センター）、藍染め体験、ねぶた絵でランプシェード、健康寿命をのばす運動、ケアビューティ	初心者短期水泳教室	移動学習（弘前れんが倉庫美術館）、春の寄せ植え、秋の料理教室、しめ縄飾りづくり

公民館名	少年教育事業	青年教育事業	女性教育事業	成人教育事業	
				家庭教育学級	高齢者教室
堀越公民館	移動学習(弘南大鶴線周辺)、リーダー研修会(キャンプ)、ケーキ作り、カルタ大会、三世代グラウンドゴルフ、レッツゴーボウリング	ヨガ講座、陶芸体験教室、料理教室、ピラティス講座、三世代グラウンドゴルフ	料理教室、リース作り、アロママッサージ、交通安全活動(かかし作り)、茶の湯	—	移動学習(柏木温泉、平川ゆきあかりや、盛美園)、交通安全活動(かかし作り)、茶の湯、小物作り、三世代グラウンドゴルフ、フラワーアレンジメント、雑巾作り、料理作り
千年公民館	明治食育センター出前講座(マーブルジャンボ万華鏡作り他)、ラジオ体操、千年児童センター秋祭り、ポッチャ大会、カルタ大会、もちつき大会	陶芸教室、ピラティス講座、レザークラフト講座、料理教室、スマートフォン講座	ラウンドダンス講座	春の花の寄せ植え、移動教室(つがる地球村)、料理教室、健康体操、正月用アレンジフラワー、エコバッグ作り	春の花の寄せ植え、認知症カフェ、お正月いけ花、エコバッグ作り
船沢公民館	ねぶた絵付け、夕涼み会、高齢者とのスポーツ交流、クリスマス会、雪灯籠作り、ポッチャ講習会	雪像制作手伝い	こぎん刺し教室、船小生き生き塾(津軽塗)、グラウンドゴルフ大会、花寄せ植え教室、移動教室(かねさ味噌梵珠工場)	夕涼み会(ペンシルハルーン、風鈴づくり)、船小生き生き塾(津軽塗)、グラウンドゴルフ大会	町会出前講座(花の管理方法)、グラウンドゴルフ教室、花寄せ植え教室、健康体操教室、夕涼み会(昔遊び指導)
高杉公民館	スポレクテー、お米・りんご探検隊、少林寺拳法教室、陶芸講座、ものづくり講座、命の授業	—	料理教室、正月用アレンジフラワー教室、ピラティス教室	—	高杉流棒サッカー大会、移動教室、ペタンク大会
裾野公民館	宿題やろう会、世代間交流ポッチャ大会、しめ縄作り、親切カルタ大会	摘果巡回講習会、農薬散布講習会、着色管理講座、剪定講習会	花壇づくり、健康体操、料理教室、パッチワーク、一閑張り、クリスマス寄せ植え、こぎん刺し	読み聞かせ会、津軽凧づくり、鬼伝説についての講演、七日堂祭についての学習	交通安全教室、ポッチャ大会
新和公民館	和太鼓教室、子ども会リーダー研修会移動学習(長勝寺ほか)、親切カルタ大会	軽音楽教室、カイロプラクティック教室	料理教室、パッチワーク	ヨガ教室	—
藤代公民館	サイクリング、夏休み宿題お助け隊、ポッチャ体験会、餅つき、親切カルタ大会	そば打ち教室、カラオケ教室	足爪ケア、ヨガ、脳活、料理教室、クリスマスツリーづくり、体操	—	教養講座(藤代地域の遺跡と歴史、花壇づくり講習会)、教養体験(悪戸焼き体験、アップルパイに挑戦、正月しめ縄作り)、健康グラウンドゴルフ、ユニカール

地区公民館まつり・地区文化祭実施状況一覧（令和7年度）

公民館名	月 日	主な内容
東目屋公民館	12月7日～14日	ステージ発表、ゲームコーナー、健康チェック、作品展示、食堂
和徳公民館	11月10日～16日	世代間交流「子どもの広場」、意見発表、交通安全教室、芸能発表会、作品展示、食堂
東部公民館	10月14日、18日、19日 11月8日、9日、30日	グラウンドゴルフ大会、ダンスのタベ、東部地区子どもの祭典、作品展示、ソフトバレーボール大会、音楽を楽しむ会、囲碁大会、カラオケ・芸能発表会、一輪車の舞、バドミントン大会、食堂
清水公民館	10月9日、 12月6日、7日	グラウンドゴルフ大会（10/9）、親切カルタ大会予選、ドッジビー、三本綱引き、グラウンドゴルフホールインワン教室、ステージ発表、作品展示、食堂
石川公民館	2月3日～6日、8日	子どもの想い発表、舞台発表、チアリーディングショー、歌謡ショー、健康増進コーナー、遊びコーナー、巨大迷路、レザー彫刻、作品展示、食堂、ピンゴ大会
堀越公民館	11月22日、23日	芸能発表、作品展示、囲碁・将棋大会、バルーンアート、子どもカルタ大会、子どもの意見発表、食堂
千年公民館	12月6日、7日	芸能発表、作品展示、QOL 健診、リユースマーケット、リース作り、盆踊りワークショップ、食堂
船沢公民館	12月13日	書道パフォーマンス、もちつき、船沢こども園（劇・ダンス）、船沢小学校（津軽弁の日）、船沢中学校学習発表、大道芸パフォーマンス、作品展示、食堂
高杉公民館	11月29日	ステージ発表、作品展示、食堂、バルーンアート、健康増進コーナー、抽選会
裾野公民館	12月3日～7日	ポッチャ大会、かるた予選会、トランプ大会、歴史講座、作品展示、食堂
新和公民館	11月29日、30日	意見発表会、器楽等の発表会、軽音楽教室発表会、和太鼓発表会、作品展示、バジチェック、親切カルタ大会、食堂
藤代公民館	10月14日～27日、 11月16日	児童書道展、作品展示、文化芸能祭

2-3 博物館

弘前市立博物館は、昭和52年4月に国指定史跡の弘前城跡三の丸の一角に、日本近代建築の巨匠である前川國男氏の設計により「知と美の調和」を掲げオープンし、平成25年には前川建築としての意匠を保全しながら大規模な改修工事を行い、平成26年4月にリニューアルオープンしている。

津軽に関する歴史、美術工芸、その他の資料の収集、保管、展示等を行い、社会教育施設としての役割を果たしていくとともに、地域の文化振興の推進を図るためにも、一層の充実に努める。

(1) 常設展

旧石器時代から近現代までの弘前の歴史と文化を通年で展示・紹介している。国指定重要文化財「猪形土製品（愛称いのっち）」を始め、お山参詣やねぶたなどの資料も展示している。

(2) 企画展

津軽地方に残された貴重な文化財、芸術作品などを紹介する企画展示を年間3回程度開催する。

(3) 特別企画展

国内外の優れた歴史・美術工芸作品の展示を開催する。

(4) イベント

博物館ロビーにおいて、講演会等を実施し、地域文化の向上を図る。

(5) 他館との連携

高岡の森弘前藩歴史館や弘前れんが倉庫美術館と連携しながら、市有バスで市内小・中学校と観覧館とを送迎する事業を実施し、学習機会の充実に努める。

実施事業

事業名	内容
特別企画展 ネコライオン ー岩合光昭写真展ー	世界を舞台に活躍する動物写真家・岩合光昭が、世界各地で捉えた人間と共生するネコ、野生に生きるライオンを対比して展示することで、私たち人間がどこかに忘れてしまった“野生”を浮き彫りにしていく。 2月7日(土)～5月10日(日) 93日間 うち令和8年度40日間
特別企画展 ワンダー・アニマルズ ーアートで感じる命のふしぎー	アニマルアート作品には、作家がもつ身近な動物に対する愛おしさが表現される。本展では、絵画作品を中心に、ガラス、彫刻など多彩な動物アートを紹介。毛の1本1本まで本物そっくりに描かれた写実的な表現、カラフルでデフォルメされたキャラクターのような表現…。作家が動物から何を感じ、どう表現したのか。想像しながらご鑑賞いただく。 本展では日本を代表する43作家約70点を展示する。 5月29日(金)～9月6日(日) 101日間
企画展1 菅江真澄、津軽の旅	江戸時代後期の東北地方・北海道を旅しながら、人々の生活文化や各地の風景などを記録した菅江真澄。その中でも津軽の風景や文化・伝承などを描いた資料に注目して紹介する。また、青森県内初となる「菅江真澄遊覧記」(重要文化財)の原本数点を借用した展示も行う。 10月3日(土)～11月29日(日) 58日間〈開館56日間〉
企画展2 かくは宮川 ー昭和を彩る弘前の百貨店ー	土手町にかつて存在した東北有数の百貨店「かくは宮川」。本展では、その歴史とともに当時の広告や看板などを紹介する。さらに昭和の写真などもあわせて展示し、弘前の街の移り変わりにも注目する。 1月9日(土)～3月7日(日) 58日間〈開館56日間〉
企画展3 花と博物館	花見の季節にあわせて、花にまつわる美術工芸品を展示する。弘前の歴史文化とともに館内でも「お花見」を楽しんでいただく。 3月20日(土)～5月30日(日) 全体で72日間(開館69日 うち令和8年度12日間〈開館11日間〉)

2-4 高岡の森弘前藩歴史館

高岡の森弘前藩歴史館は、市町村合併を契機に、当地の歴史・文化を語る上で欠くことのできない貴重な歴史・美術工芸資料の適正な管理保存と展示公開のため「津軽歴史文化資料展示施設」として計画された。平成22年度の基礎調査より事業着手し、27年度着工、29年度に竣工した。施設名称は公募により「高岡の森弘前藩歴史館」と決定し、平成30年4月1日にオープンを迎えた。施設整備に併せて、弘前藩が江戸時代後期に築造した高照神社馬場跡について、土塁や砂敷きを復元し、園路・東屋・案内板を整備した。

多くの人々に公開する環境を整え、藩政時代からの歴史・文化資料をもって、地域の立体感のある遺構空間の形成を図る。

(1) 常設展

地域の成り立ちに大きく関わる弘前藩主津軽家や藩士たちの旧蔵資料を中心とした展示を行う。

津軽信政着用具足、津軽領や弘前城下の絵図、弘前藩の歴史年表・家系図、岩木山を中心とした地形模型などにより弘前藩の歴史像や地域像を紹介する。

(2) 企画展等

弘前藩4代藩主津軽信政を祀る高照神社の所蔵品を中心に、市が所蔵する弘前藩に関わる歴史資料・美術工芸資料を展示し、江戸時代の弘前を理解できるよう企画する。武器刀剣類を含む美術工芸資料や、絵図・古文書を含む歴史資料などを、年間4回程度テーマに沿って企画展示する。

(3) 高照神社馬場跡等の活用イベント

高照神社馬場跡における流鏝馬イベント、歴史館で講座等を実施し、歴史館及び馬場跡の利活用を促進する。

(4) 他館との連携

弘前市立博物館や弘前れんが倉庫美術館と連携しながら、市有バスで市内小・中学校と観覧館とを送迎する事業を実施し、学習機会の充実を図る。

実施事業

事業名	内容
企画展1 弘前藩の刀剣	津軽地域に伝わる刀剣・具足などの武具の他、それらに関わる古文書などを幅広く紹介する。 4月3日(金)～5月31日(日) 59日間(開館57日)
企画展2 津軽信政と高照神社	歴代藩主の中でも名君と称された津軽信政の事績や、死後祀られ「高岡様」と尊崇された高照神社を紹介する。 6月17日(水)～8月30日(日) 75日間(開館73日)
企画展3 江戸と弘前	江戸と国元弘前を中心に、藩領内における生活や、江戸と弘前の往来など旅に関する品々を取り上げる。 9月16日(水)～12月6日(日) 82日間(開館79日)
収蔵品紹介展	高照神社奉納品や当館開館後に寄贈された掛軸・武器刀剣類など、収蔵品を幅広く取り上げる。 1月13日(水)～3月14日(日) 61日間(開館59日)

2-5 図書館（指定管理）

弘前図書館、岩木図書館、駅前分室こども絵本の森、相馬ライブラリー（直営）は生涯学習を推進する施設として、市民の多様化、高度化する要求にも対応できる資料の収集と提供に努め、市民の身近な図書館を目指す。そのため、各種講座や各種事業による学習機会を提供し、生涯学習の支援に努める。また、特定のジャンルに偏ることなく、広く資料を収集するとともに、時代に即した資料、地元産業に関わる資料、市民の要望に配慮した資料の収集に努める。なお、弘前図書館では、貴重な古文書等の資料の整備保存に努め、全国レベルの調査研究に対応できる図書館を目指す。

また、駅前分室こども絵本の森は、乳幼児のための絵本を備えるとともに、保護者向けの関連図書資料も用意するなど子育て支援に重点を置いた図書館となっている。

平成29年4月から、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

実施事業

【弘前図書館】

事業名	内容
おたのしみおはなし会	読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る。（毎月第1～第4土曜日）
夏休みおはなし会	小学生を対象に、夏・冬等にちなんだ物語を題材に、読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書普及を図る。夏休みおはなし会（7月）、クリスマスおはなし会（12月）
クリスマスおはなし会	
図書館のお仕事やってみ隊	小学生を対象にした図書館の仕事の体験学習を実施する。（7月～8月）
おはなしと読み聞かせ講習会	一般市民を対象にした読み聞かせの技術講習会を実施する。（年1回）
手作り絵本講習会	絵本作家による手作り絵本の講習会を実施する。（年1回）
ロビー展示・ミニロビー展示	テーマを設定して図書や資料を紹介、展示する。（通年）
閲覧室内資料展示	テーマを設定し、図書の展示をする。（通年）
調べる学習コンクール	調べ学習を通して知的好奇心を育み、課題解決能力の向上を目指す。（通年）
小学生に贈るおはなし	小学生を対象に絵本の読み聞かせ等を行い、おはなしや絵本の良さを子どもたちに伝える。（年1回）
館報「はと笛」発行	巻頭随想、新着本の紹介、図書館行事等のPRをする。（年4回）
パスファインダー	探している情報にいち早くたどり着けるよう、関連図書の紹介を行う。（通年）
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。（通年）
図書郵送サービス	在宅の障がい者を対象に、図書を郵送貸し出しする。（通年）
対面朗読サービス	点字読書室でボランティアによる視覚障がい者への図書の朗読を実施する。（通年）
相互貸借サービス	利用者の希望に応じ、他の図書館と図書を貸し借りする。（通年）
読書団体への配本業務	登録されている市内の読書団体へ3ヶ月更新で貸出図書の配本・回収を行う。（通年）
リサイクル図書事業	移動図書館車用の図書で除籍したものを地区公民館、読書団体、小・中学校に譲渡する。（11月～12月）
学校図書館訪問事業	小・中学校の図書館の現状を把握し助言等を行う。（5月～3月）
弘前ライブラリーシネマ	図書館で映画の上映会を開催し、潜在利用者の来館を促す。（年2～3回）
移動図書館の一日開放	移動図書館車「はとぶえ号」を知ってもらうため1日開放して利用促進を図る。（10月）
ぬいぐるみのおとまり会	大切なぬいぐるみが図書館に泊まって探検する疑似体験を通して図書館を身近な場所として感じてもらう。（年1回）
市民講座	市民を講師に身近なテーマの講座を行い、地元への愛着を深めてもらう。（年1回）
図書館製本講座	製本講座を通して本の仕組みを知ってもらい、図書の利用促進を図る。（年1回）
大人のための図書館見学	大人を対象にした図書館見学を行い図書館に今まで以上に親しんでもらい利用促進を図る。（年1回）
まるかじり本棚弘前	おすすめしたい本を持ち寄って訪れた人に自由に読んでもらい市民の交流の場を創設する。（通年）
雑誌の無料配布	保存年限が過ぎ、除籍した雑誌のバックナンバーを市民に無料提供する。（10月）

事業名	内 容
ライブラリースクール	様々な専門家を招いて講演等を行い、各分野の知識を高めてもらうとともに、その分野ごとでの図書館利用の促進を図る。 (7月)
雑誌スポンサー事業	企業等に雑誌の購入費用の一部を負担していただき、購入雑誌にスポンサー企業の広告を載せる。 (通年)
SNSを活用した情報発信	SNSを活用して図書館情報を発信する。 (通年)
観光案内コーナー	ロビーの一角に市内及び近郊の観光パンフレットを置く。 (通年)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。 (8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。 (通年)

【 岩木図書館 】

事業名	内 容
メエメエさんおはなし会	読み聞かせや紙芝居・手遊びなどを通じて、読書への導入を図る。 (毎週土曜日)
夏休み応援企画	小学生の夏休み自由研究・工作の一助となるイベントを開催する。 (7月～8月)
あおもり冬の読書週間	読書の習慣を育む企画展示を開催する。 (1月)
こどもの読書週間	児童書の利用促進につながる企画展示を開催する。 (4月～5月)
読書週間	読書のすばらしさ、読書の習慣が身に付くように、様々な企画展示を開催する。 (10月～11月)
図書館まつり	岩木文化祭にあわせて、絵本作家ささやすゆき先生による手作り絵本の講習会及びボランティアによる読み聞かせ会を行う。 (11月)
テーマ展示	毎月、閲覧室と児童室でテーマに沿って選書した本の展示・貸出しを行い、図書館の利用促進を図る。 (通年)
おはなしクリスマス会	クリスマスのおはなしを通じて、読書普及を図る。 (12月)
相互貸借サービス	利用者の希望に応じ、他の図書館と図書の貸し借りをする。 (通年)
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。 (通年)
ぬいぐるみのおとまり会	大切なぬいぐるみが図書館に泊まって探検する疑似体験を通して図書館を身近な場所として感じてもらう。 (年1回)
読み聞かせボランティア講習会	読み聞かせの講習会を開催し、読み聞かせのネットワーク化やレベルアップによる活動基盤の充実を図る。 (2月～3月)
いわきあずましライブラリー	おすすめしたい本を持ち寄って訪れた人に自由に読んでもらい市民の交流の場を創設する。 (通年)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。 (8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。 (通年)

【 駅前分室こども絵本の森 】

事業名	内 容
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。 (通年)
ブックスタートおはなしかい	ブックスタートでプレゼントする絵本の楽しみ方などをアドバイスし、読み聞かせへの関心を高める。 (毎月第3日曜日とその次の週の水曜日)
えほんのもりのおはなしかい	絵本の読み聞かせなどで読書への導入を図る。 (毎月第1日曜日とその次の週の水曜日)
こどもの読書週間	児童書の利用促進につながる企画展示を開催する。 (4月～5月)
わくわくクイズラリー おはなしクイズラリー	小学生以下を対象にテーマを設定し、その本に関するクイズや間違い探し等に挑戦してもらう。 わくわく(7月～8月)、おはなし(12月～1月)
秋の読書週間	読書のすばらしさ、読書の習慣が身に付くように、様々な企画展示を開催する。 (10月～11月)

事業名	内 容
ミニ展示コーナー	季節や郷土絵本作家などの作品を集めてミニ展示を行い、本への関心を深めてもらう。 (通年)
「テーマ別絵本」展示	毎月テーマに沿って展示、貸し出しを行い、絵本への興味を喚起する。 (通年)
雑誌の無料配布	保存期間を過ぎた雑誌のバックナンバーを無料提供する。 (2月)
ハッピーボックス ～本との出会い～	ガチャボンのカプセルに鍵を入れ、出てきた番号のロッカーに入っている本を借りていくことを通して本への関心を高めてもらう。 (随時)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て回ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。 (8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。 (通年)
パパとじいじとえほんあそび	お父さん、おじいさんを対象に、子どもや孫と一緒に絵本で遊び、本に触れあうきっかけ作りと読み聞かせの足掛かりを作る。 (年1回)

【相馬ライブラリー】(直営)

事業名	内 容
相馬ライブラリーおはなし会	読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る。 (毎月第2日曜日)
夏休み特別企画おはなし会	読み聞かせや紙芝居、寸劇などを通じて、読書への導入を図る。 (8月第2日曜日)
夏休み特別企画イベント	夏休み期間に合わせて、来館のきっかけになるようなイベントを行い、利用促進を図る。 (7月下旬～8月)
冬休み特別企画イベント	冬休み期間に合わせて、来館のきっかけになるようなイベントを行い、利用促進を図る。 (12月中旬～翌年1月)
相馬ライブラリーおすすめコーナー	背表紙だけでは借りることの少ない本を、季節ごとのテーマで選書、展示や貸し出しを行い、読書への導入を図る。 (通年 年4回)
郷土の作家コーナー	郷土作家などの作品を集めて展示を行い、地元の作家に興味をもってもらい、利用促進を図る。 (通年)
青森県立図書館コーナー	青森県立図書館からテーマ別のセット本を借受けて展示、貸し出しを行い、読書への導入を図る。 (随時 年2～7回)
相馬ライブラリー広報誌発刊	相馬ライブラリーの活動や情報、本の紹介等を紙面で発信することにより、認知度の向上と利用促進を図る。 (通年 年4回)
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。 (通年)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て回ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。 (8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。 (通年)
相馬地区文化祭特別企画イベント	相馬地区文化祭の期間に合わせてイベントを行い、地域住民の相馬ライブラリーへの関心や愛着を深める機会を創出する。 (11月下旬)

2-6 郷土文学館（指定管理）

郷土出身の作家や郷土にゆかりのある作家に関する資料を広く収蔵・公開し、市民の文学に対する関心と理解を高めるとともに、地域文化の発展を目指す社会教育施設として一層の充実に努める。

平成29年4月より、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

(1) 常設展

郷土にゆかりのある作家10人の文学資料の展示を中心に、更に資料の充実に図りながら、より理解が深まる展示に努める。

(2) 企画展

テーマを設定し、作家の業績を様々な角度から展示紹介する企画展と、これを記念する行事としての講演会などを開催し、郷土ゆかりの文学者の業績と人間像に触れる機会を広く提供する。

(3) スポット企画展

常設展や企画展で展示できない資料や新たに収蔵した資料を折々の話題に即して展示し、収蔵資料を広く公開する。

(4) 北の文脈文学講座

企画展等の展示資料を基に、朗読や解説を加えながら作品を鑑賞する文学講座を開催し、郷土作家の人と作品について理解を深めてもらう。

(5) 催し「ラウンジのひととき」（平成30年度から開始）

弾き語り、コンサート、ドラマリーディングなど、郷土文学と「音」のコラボによるひとときを楽しむ催しを行う。

(6) 特別展 文学忌（令和2年度から開始）

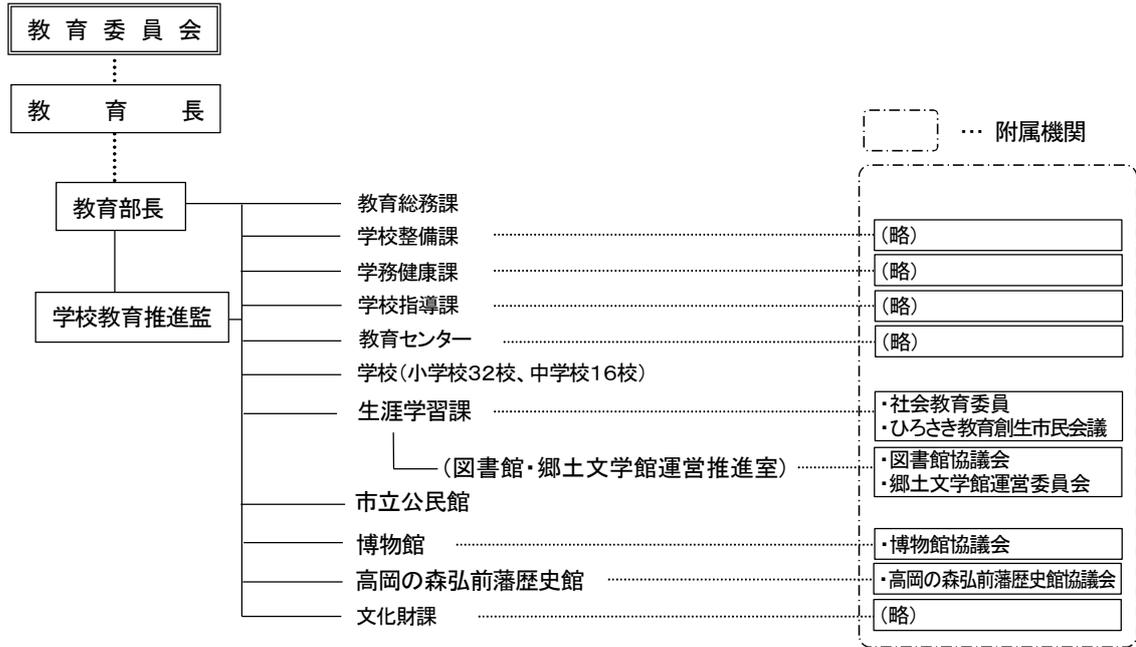
常設作家を中心とした郷土にゆかりのある作家の忌日に合わせ、作家にちなんだ特別展示を行う。

実施事業

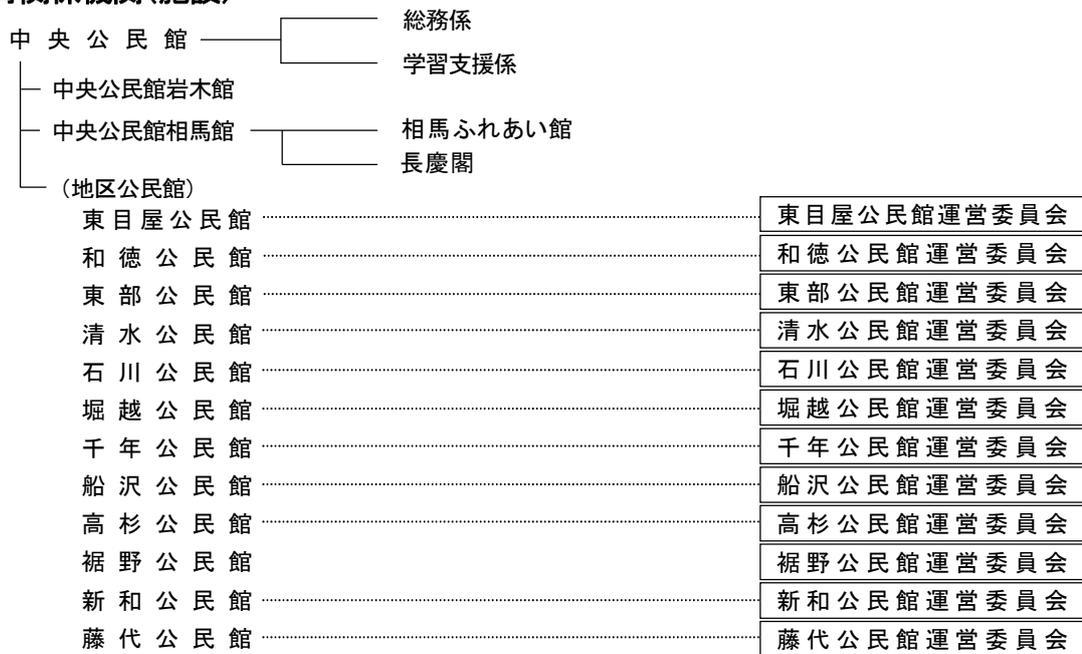
事業名		内容
企画展	第50回企画展「『壁の花』直木賞受賞70年 今官一〜わが友 太幸治」	太幸治の忌日を〈桜桃忌〉と命名し、『壁の花』で青森県初の直木賞を受賞した今官一。本展では、太幸治との交流を中心に今官一の生涯と作品を概観する。 (4月1日～令和9年3月21日) (12月29日～1月3日は休館)
スポット企画展	写真でたどる太幸治『津軽』	龍飛・小泊・深浦など太幸治の代表作『津軽』の舞台となった景勝地を、現地の風景写真と太幸の文章により紹介する。 (4月15日～7月6日)
	山田スイッチーイラストと文章	平川市に住むコラムニスト、イラストレーターの山田スイッチーが50歳の節目を迎えるにあたり、その軽妙な文章とイラストの魅力を紹介する。 (7月8日～9月28日)
	鈴木喜代春没後10年展	『十三湖のばば』『けがつの子』などの名作で知られる児童文学作家・鈴木喜代春（田舎館村出身）の没後10年にあたり、その人と作品を紹介する。 (9月30日～12月7日)
	新収蔵資料展	近年新たに収蔵した資料を中心に展示・紹介する。 (12月9日～令和9年3月1日) (12月29日～1月3日は休館)
	現在活躍中の作家展	鎌田慧、三浦雅士ら、津軽出身で現在活躍中の作家の著作などを紹介する。 (令和9年3月3日～4月12日) (3月21日～31日は休館)
講座	北の文脈文学講座	企画展・スポット企画展で展示している作家や資料を、朗読や解説を加えながら作品を鑑賞する文学講座を実施する。 (令和8年5月～12月までの第3土曜日。ホームページ等でお知らせ)
催し	ラウンジのひととき	2階ラウンジを会場に、弾き語り、コンサート、ドラマリーディングなど、郷土文学と「音」のコラボによるひとときを楽しむ催しを行う。 (令和8年5月～12月までの第1土曜日。ホームページ等でお知らせ)
特別展	文学忌	忌日を含む一週間のロビー展を開催、忌日は観覧料無料。 ①平田小六（5月18日）②佐藤紅緑（6月3日）③太幸治（6月19日）④葛西善蔵（7月23日）⑤陸羯南（9月2日）⑥一戸謙三（10月1日）⑦石坂洋次郎（10月7日）⑧福土幸次郎（10月11日）⑨長部日出雄（10月18日）⑩高木恭造（10月23日）⑪今官一（3月1日）

3 行政機構図

(令和8年4月1日現在)



社会教育関係機関(施設)



4 社会教育関係施設等

4-1 教育委員会所管

(令和8年4月現在)

名称	電話	配置形態 複合・単独・併設	所在地	面積 m ²		建築 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
中央公民館	33-6561 Fax33-4490	複合 (弘前文化会館)	〒036-8356 下白銀町19-4 弘前文化センター 内	3,787.77	11,512.88	昭和 56・7 (令和 4・12 改修)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	会議室4 和室3 小ホール 調理実習室 工作実習室2 多目的研修室 多目的活動室
中央公民館 岩木館	82-3214 Fax82-3426	複合 (岩木図書館) 併設 (岩木文化センター)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	2,500.88	9,861.77	昭和 56・11	鉄筋コンクリート造 地上2階	ホール 和室2 研修室2 展示室 会議室 視聴覚室 創作室 音楽室 茶室 調理実習室
中央公民館 相馬館	84-2316 Fax84-2328	複合 (相馬マイン ・相馬総合支所 ・御所温泉)	〒036-1592 五所字野沢41-1 弘前市相馬庁舎内	356.16	9,476.49	平成 25・2	鉄骨コンクリート造 平屋	和室 調理実習室 研修室3
長慶閣	—	単独	〒036-1592 五所字野沢45-3	935.40	3,457.47	昭和 58・8 (平成 26・3 改修)	鉄骨コンクリート造 平屋	多目的研修集会室 控室2
東目屋公民館	86-2112	複合 (東目屋 出張所)	〒036-1451 中野字中豊田20 東目屋ふれあいセ ンター内	2,134.00	10,205.00	平成 11・3	鉄筋コンクリート造 平屋	調理室 和室 研修室 体育・集会室 談話室 資料室 図書室 会議室
和徳公民館	36-4747	単独	〒036-8071 大久保字沼田204- 3	313.20	1,169.00	昭和 49・9	木造 平屋	講堂 会議室 和室 図書室 調理室
東部公民館	27-5800 Fax27-5809	複合 (学習情報館 ・教育センター)	〒036-8085 末広四丁目10-1 弘前市総合学習セ ンター内	1,453.6	6,473.67	平成 7・7	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階	調理室 集会室 会議室2 茶室 多目的ホール 地域交流 室
清水公民館	88-2110	単独	〒036-8243 小沢字御笠見46- 10	525.91	1,759.70	昭和 59・3	木造 平屋	研修室 集会室 図書室 和室2 調理室
石川公民館	92-3405	複合 (石川小・中学校・ 石川出張所・石川 児童館)	〒036-8124 石川字庄司川添19- 1	(複合)	(複合)	令和 6・7	鉄筋コンクリート造 2階	集会室2 和室
堀越公民館	27-2635	単独	〒036-8111 門外2-3-11	525.91	1,336.42	昭和 58・1	木造 平屋	集会室 研修室 図書室 和室2 調理室
千年公民館	87-2130	単独	〒036-8127 小栗山字川合115- 1	604.07	2,586.04	昭和 59・12	木造一部鉄骨 平屋	和室2 集会室 調理室 研修室 図書室
船沢公民館	96-2323	複合 (船沢出張所)	〒036-8383 折笠字宮川95-5	765.96	2,886.66	平成 2・3	木造 平屋	研修室2 会議室2 和室 図書室 調理室
高杉公民館	95-2336	複合 (高杉出張所)	〒036-8381 独狐字山辺72-1 北辰学区高杉ふれ あいセンター内	35.00	12,857.15	平成 19・9	鉄骨造 平屋	体育室 研修室2 和室2 世代交流室2 図書室 調理実習室
裾野公民館	93-2810	複合 (裾野出張所)	〒036-1203 大森字勝山81-1 農村環境改善セン ター内	1,077.09	4,175.60	昭和 53・6	鉄筋コンクリート造 2階	ホール 研修室 図書室 会議室 和室2 保健室
新和公民館	72-1517	複合 (新和出張所)	〒038-3614 種市字熊谷5-1	497.27	1,133.48	昭和 52・11	木造 平屋	講堂 和室 研修室 調理室 図書室
藤代公民館	32-1977	単独	〒036-8318 八代町2-10	389.11	1,041.43	昭和 50・10	木造 平屋	講堂 会議室 和室 図書室 調理室

名称	電話	配置形態 複合・単独・併設	所在地	面積 m ²		建築 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前図書館	32-3794 Fax36-8360	複合 (郷土文学館)	〒036-8356 下白銀町2-1	4,922.77	5,501.61	平成 2・3	鉄筋コンクリート造 地下2階 地上3階	貸出閲覧室 調査室 読書学習室2 点字読書室 視聴覚室
こども絵本の森	35-0155	複合 (ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町9-20 ヒロロ内	264.20	9,910.13	平成 6・3 (平成 25・7 改修)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階	貸出閲覧室
岩木図書館	82-1651 Fax82-5150	複合 (中岩木館) 併設 (岩木文化センター)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	399.00	9,861.77	昭和 56・11	鉄筋コンクリート造 地上2階	閲覧室 児童室 学習室
相馬 ライブラリー	84-2316 Fax84-2328	複合 (中公相馬館 ・相馬総合支所 ・御所温泉)	〒036-1592 五所字野沢41-1 弘前市相馬庁舎内	135.81	9,476.49	平成 25・2	鉄骨コンクリート造 平屋	閲覧室 児童室
郷土文学館	37-5505 Fax36-8360	複合 (弘前図書館)	〒036-8356 下白銀町2-1	594.26	5,501.61	平成 2・3	鉄筋コンクリート造 地下2階 地上2階	常設展示コーナー 方言詩コーナー 企画展示コーナー 石坂洋次郎記念室
博物館	35-0700 Fax35-0707	単独	〒036-8356 下白銀町1-6	2,279.59	4,879.38	昭和 51・8 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上一部2階	展示室4 展示ホール
鳴海要 記念陶房館	82-2902	単独	〒036-1313 賀田字大浦1-2	274.81	1,034.02	平成 15・3	鉄筋コンクリート造・一部木造 平屋	展示室 窯場 ホール 陶房
高岡の森 弘前藩歴史館	83-3110 Fax26-5456	単独	〒036-1344 高岡字獅子沢 128-112	1,636.56	4,114.78	平成 30・2	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上一部2階	展示室4 映像・講話室 資料閲覧室
学習情報館	26-4800 Fax26-2250	複合 (東部公民館 ・教育センター)	〒036-8085 末広四丁目10-1 弘前市総合学習センター内	3,074.46	6,473.67	平成 7・7	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階	会議室 セミナー室 視聴覚室 工芸室 コンピューター研修室
相馬 ふれあい館	84-3475	単独	〒036-1515 相馬字八反田25-1	467.62	6,567.34	昭和 52.12 (平成 27・3 改修)	鉄筋コンクリート造 平屋	多目的ホール 和室2 調理室 運動広場
少年野外 研修場	— (H22～休止中)	単独	〒036-1343 百沢字東岩木山 3067	113.67	40,622.53	(設置) 昭和52	木造	避難棟 炊事場 トイレ
弘前市天文台	—	単独	〒036-1505 水木在家字桜井 66-1	240.88		平成 元・8 (平成 25・11 改修)	鉄筋コンクリート造 地上3階	※主な装置 40cmカセグレン式反射 望遠鏡 8cm・10cmケプラー式屈 折望遠鏡

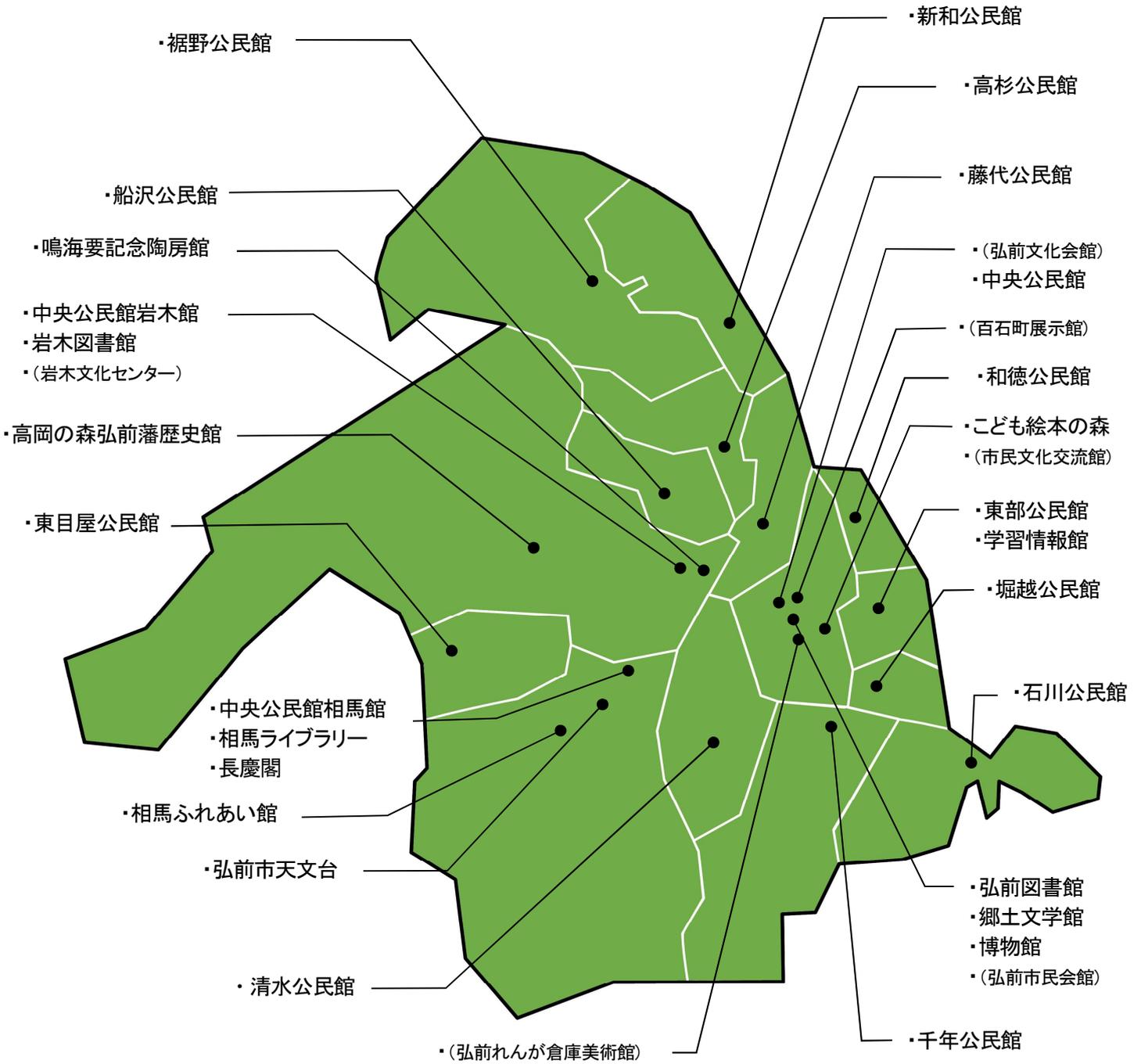
4-2 観光部 文化振興課所管

名称	電話	配置形態 <small>複合・単独・併設</small>	所在地	面積 m ²		建築年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前市民会館	32-3374 32-3375 Fax32-3381	単独	〒036-8356 下白銀町 1-6	5,593.73	490,000.00	昭和 39・4 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	ホール1,343席 会議室4 和室1 楽屋6 ロビー ホワイエ
弘前文化会館	33-6571 Fax33-6570	複合 (中央公民館)	〒036-8356 下白銀町 19-4 弘前文化センター 内	3,558.26	11,512.88	昭和 56・7 (令和 4・12 改修)	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地下1階 地上3階	ホール552席 楽屋2 練習室3 美術展示室 会議室2
岩木文化センター	82-3214	併設 (中岩木館 ・岩木図書館)	〒036-1313 賀田一丁目 18-4	2,766.91	9,861.77	平成 13・2	鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階	ホール 楽屋4 パントリー ミニシアター
市民文化交流館	35-0154 Fax35-0187	複合 (ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町 9-20 ヒロロ内	1,015.63	9,910.13	平成 6・3 (平成 25・7 改修)	鉄骨鉄筋コン クリート造 地下1階 地上7階	ホール 多世代交流室6 イベントスペース コミュニケーションゾーン
百石町展示館	31-7600 Fax31-7623	単独	〒036-8035 百石町 3-2	779.66	2,171.36	明治 16 (平成 16・4 改修)	木造、一部鉄 筋コンクリート 造、鉄骨造 2階	展示室3 情報コーナー 喫茶コーナー
弘前れんが 倉庫美術館	32-8950	単独	〒036-8188 吉野町 2-1	3,089.59	3,985.02	大正 12 (令和 2・2 改修)	れんが造、一 部鉄骨造、鉄 筋コンクリート造、 木造地上2階	展示室5 スタジオ3 市民ギャラリー ライブラリー

※「面積」、「建築年月」及び「構造」の主な出典は「弘前市公共施設カルテ(令和5年度版)」です。

「敷地面積」は、施設が配置されている敷地の面積を示しています。「構造」については、施設が配置されている建物の全体を示しています。

弘前市の社会教育関係施設配置図





発行／弘前市教育委員会
年月／令和8年4月